

# 新たな船出の春

佐々木造船進水式



## おおさきかみじま 議会だより

第56号/2017年5月2日

### 平成29年2月定例会

平成29年度予算 ————— 2～3

主な新規事業 ————— 4～5

わか町の予算主なりとり — 6～8

決まった主なこと ————— 9

一般質問 ————— 10～13

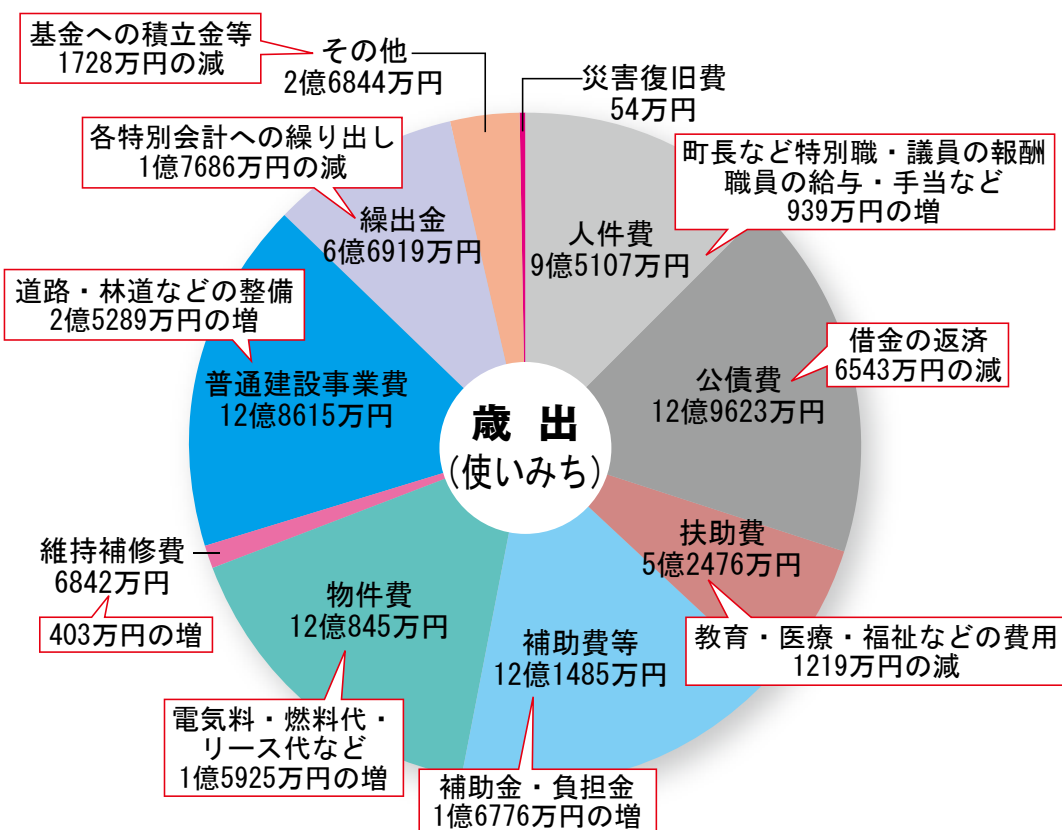
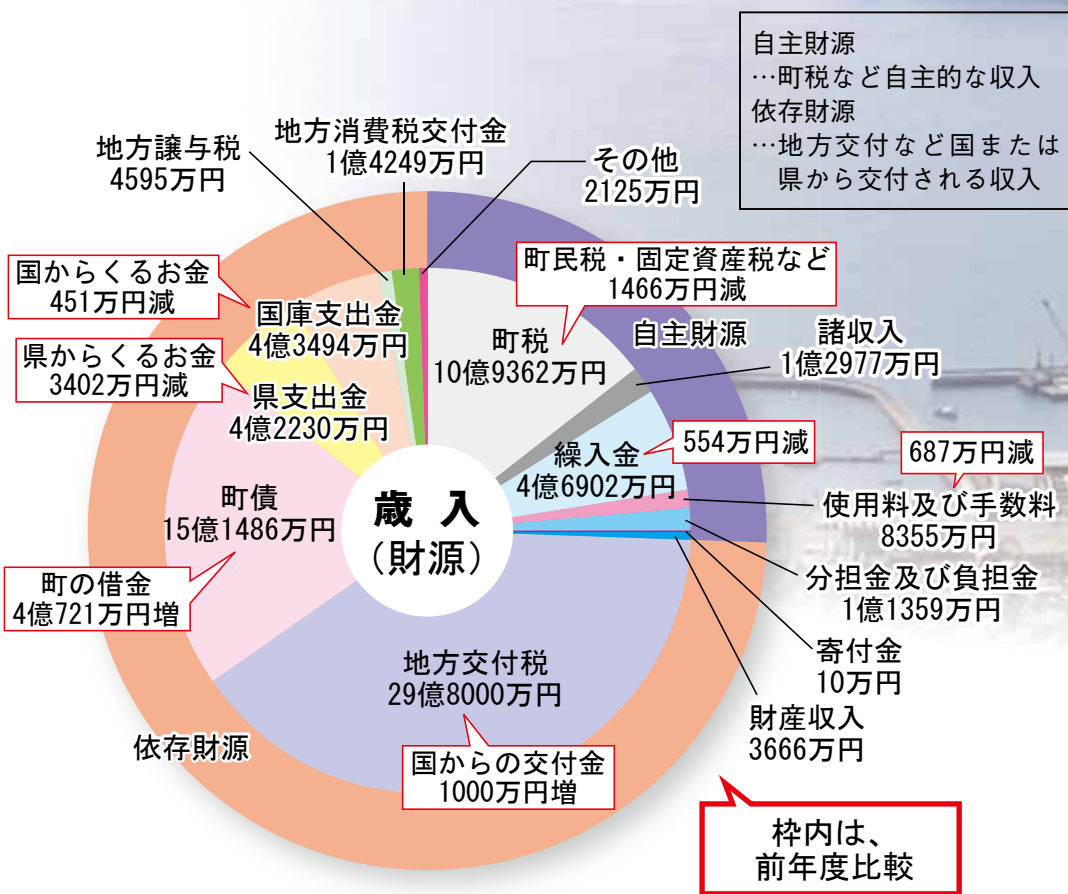
委員会報告 ————— 14～15

議会構成・新議会構成 ——— 16～17

あれから・編集後記 ————— 18

# 予算を可決

115億2230万円  
15億1486万円



平成29年第1回大崎上島町議会定例会は、2月13日から2月28日の会期で開会した。町長の施政方針に始まり、4名の議員の一般質問、条例改正を含む議案等、2月補正予算、新年度一般会計及び特別会計予算・水道事業会計を審議し、全ての案件を可決した。



# 平成29年度

第1回定例会  
(2月議会)

予算総額(一般会計+特別会計+水道事業会計)  
今年度の町債(借金)

## 平成29年度一般会計予算 74億8810万円

対前年比  
4.5%  
増額

### 会計別予算総括表

会計名	予算額	前年度比 %
一般会計	74億8810万円	4.5
国民健康保険	13億6945万円	△2.4
介護保険	14億6345万円	0.4
後期高齢者医療保険	1億6940万円	△6.8
*簡易水道事業	—	△100.0
公共下水道事業	1億5964万円	3.0
農業集落排水事業	8736万円	95.7
漁業集落排水事業	6409万円	11.3
港湾管理	1815万円	10.8
漁港管理	342万円	△3.7
交通事業	8286万円	5.2
干拓地管理	1537万円	58.3
特別会計合計	34億3319万円	△10.8
*水道事業会計	6億 101万円	—
合計	115億2230万円	4.6

#### 〔町長施政方針より抜粋〕

##### 今年度の基本目標

- 一 元気に住み続けたい気持ちを実現するまち
- 二 地域を愛する人を育てるまち
- 三 美しく住みよい環境で暮らすまち
- 四 大崎上島流の元気産業を育てるまち
- 五 明日を担う人づくりと交流のまち
- 六 理解と協働でつくるまち

\*平成29年度から水道事業会計へ移行

# 新規事業



## 学習交流センター整備事業

大崎海星高等学校・広島商船高等専門学  
校・大学誘致にかかるサマーセミナー参加  
者・住民などが交流し、学ぶ拠点施設とし  
て整備する。

事業費 4億1615万円

## 広島県立大崎海星高等学校 活性化支援事業

公営塾のスタッフ強化に加え、新たに生  
徒の海外短期交流留学を支援し、高校の魅  
力化を図る。

事業費 4641万円

## グローバルリーダー育成校 誘致事業

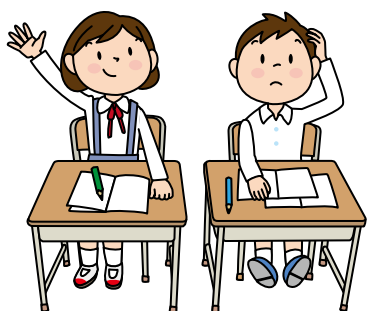
グローバルリーダー育成校誘致に伴い水  
道・下水道のインフラ整備を行う。

事業費 6394万円

## 教育の島推進事業

教育の島について有識者で議論を深め、  
構想づくりを進める。

事業費 2708万円



# 今年度の主要

## かんきつ産地育成事業

国の事業を活用し、入相新開へ2ヘクタールのレモン団地を整備し生産量の拡大を図る。

事業費 1000万円



## 有害鳥獣駆除対策事業

イノシシ等による鳥獣被害に対処するため、捕獲報奨金を増額して駆除数の増を図る。有害鳥獣駆除の処理が円滑に行えるよう処理施設の整備を行う。

事業費 6668万円

## 地域情報化推進事業

災害時を想定し、インターネット接続環境を整備することで被災時に接続地域から情報収集ならびに発信ができる環境を整える。島を訪れた観光客などが手軽に情報収集ができる環境を整備することにより観光振興を推進する。

事業費 812万円



# 主なやりと

**問** 畑地帯総合整備事業の今年度の計画は。(閑田議員)

**答** 現在の排水機新設工事の工期が平成29年9月まで延長される予定。その後、農業用排水施設の管路工事が平成29年度と30年度で実施される。(地域経営課長)



畑地帯総合整備事業

**問** 新規の社会福祉人材就職支援金支給事業で、福祉分野の人材の掘り起こしを図るといいますが、長期的な視

点で考え、年齢制限等を設けては。

**答** また、このような制度は本来、遠方から就職する場合に事業所の近隣で居住環境を整えるためのもので、町内在住の方も対象となるのは違和感があるが。(閑田議員)

**問** 人材不足が喫緊の問題であり、有資格者の掘り起こしを図るなかで、年齢制限を設けるだけの社会資源がない。

**答** できるだけ早急に人材を確保するため、年齢・町内外などの制限を設けない。(福祉課長)

**問** 町の備品管理は適切か。監査で指摘しているが、庁舎以外の町の施設の備品が適切に管理されていないものがあると思うが。(閑田議員)

**答** 総務企画課とも連携し精査していく。(住民課長)

**問** 超小型モビリティの利用実績は。観光の目玉として導入したが、情性になっていないか。

**答** きちんと精査し、継続するならば積極的なPRで利用促進を図るべきでは。(閑田議員)

**問** 5台のうち2台が故障していることで稼働率が下がっているが、利用状況はここ数年横ばい。

**答** 修繕を含む今後の計画については検討中であり、まとまった段階で議会にも提案したい。(地域経営課長)



小型モビリティ

**問** 親水公園の遊歩道が経年により傷んでいる箇所が多く見られるが、整備は。

**答** 遊歩道は点検していない。新年度で点検し、整備していきたい。(地域経営課長)



親水公園

**問** 学校給食における食物アレルギーへの対策は。加熱処理の管理は。

**答** 食物アレルギーは重症化する事例が多くみられるので、細かな管理が必要では。(閑田議員)

# わが町の予算

**答** 保護者から申請があった物について除去食とし、学校と給食センターで細かく連携して行っている。  
加熱処理については調理法にのっとり適正な管理を行っている。(教育課長)

**問** 施設管理として、庁舎自体は耐震化を行い、維持管理がなされているが、周辺駐車場などの陥没など、全体的な管理は。(信谷議員)

**答** 定期的に点検し、危険箇所はその都度修繕していく。(総務企画課長)



本庁舎駐車場の陥没部分

**問** 町道・林道などの維持管理は。

特に林道などは傷みかたのひどい箇所も多いが。(信谷議員)

**答** 予算も限られている中、苦慮している。

まずは生活道から、要望に基づき優先順位を設けて整備していく。(建設課長)



スーパー林道の現状

**問** 社会福祉人材就職支援金支給事業で、保証人制度についてはどのように考えているのか。(信谷議員)

**答** 要綱を策定する中で、保証人を1名設定するよう

考えている。

適切に運用していきたい。(福祉課長)

**問** 神峰山公園道は危険箇所も多くあるが、町道改良による全線改良を行うつもりは。(浜田幸造議員)

**答** 大規模に行うと長い期間通行止めになることなどを考慮すると、特に危険な箇所から整備していかざるを得ない。

昨年も答弁したが、担当課には整備を進めるよう指示している。(町長)



神峰山公園道

**問** 子育て住宅は満室が続いているが、今後増やしていく計画は。(越田議員)

**答** 現在、2件の問い合わせが来ている。

今後ニーズがあれば検討する。(建設課長)



子育て住宅

**問** 有害鳥獣駆除の報奨金が成獣と幼獣に区分されたが、その区分けは明確になっているのか。

関係機関との協議は行ったか。

また、処理施設建設にあたって、供養塔を建てては。(越田議員)



**問** ウリ坊の模様が消えた段階で成獣とみなすこと、それを写真で確認して判断することなどを含めて、今後関係機関と協議していく。供養塔については要望など、必要性が生じれば検討する。(地域経営課長)



被害が拡大しない対策を！

**問** 社会福祉総務費の大幅減の要因は。(辰田議員)  
**答** 国民健康保険事業特別会計への操出金が前年度より減少したため。(保健衛生課長)

**問** 小学校のグラウンドにイノシシが入り、周辺を掘り起こしたり、夏場にはマムシが出たりしている。児童に対する指導だけでなく、施設管理・環境整備を進めるべきでは。(越田議員)

**答** 新年度、これらに対応する予算を組ませていただいている。ただ、それですべてに対応できるわけではないので、もう1度確認し対応を講じていきたい。(教育長)



木江小学校

**問** 3月からクールジエンが試験運転に入る。いつから、幾らの税収が見込めるのか。(辰田議員)  
**答** クールジエン単体での試算はしていない。(住民課長)



酸素吹1GCC実証試験発電所(中国電力(株)大崎発電所構内) 大崎クールジエン(株)提供

**問** 労働金庫への預託金は全市町村が出しているのか。(辰田議員)  
**答** 県内23市町のうち19市町が預託している。(総務企画課長)

**問** 高速艇の運行欠損金が少しづつ増えている。利用者を増やす施策は。運行経費が増大しているが、減らす方策は。  
**答** 未永永劫、3700万円の赤字補てんを続けるのか。(辰田議員)

**問** 高速艇の運行欠損金が少しづつ増えている。利用者を増やす施策は。運行経費が増大しているが、減らす方策は。  
**答** 利用啓発を図るとともに、船の運航に係る経費を削減する方法を探っていく。どこまで継続するかについては、交通問題協議会や交通連携協議会とも協議しながら、計画を進めたい。(総務企画課長)



故障による運休が増えている高速艇

**問** 交通量の少ない農道、林道で災害が発生し、放置されている。優先順位に基づいて、要望の多い箇所から修繕するのは限られた予算のなかで当然ではあるが、崩れた土砂が水路を塞ぎ、氾濫した水流で2次被害が起きている。

**答** 早急にまずパトロールから始めるべきでは。(辰田議員)  
**問** 道路沿いはともかく、畑の奥のほうの水路などは全てパトロールするのは難しい。農家の方に要望を挙げていただければ、対応していきたい。(建設課長)



# 第1回定例会(2月議会)

## 決まった主なこと

- ・人権擁護委員推薦  
氏名 小松 恵子氏(再任)
- ・広島市と大崎上島町との連携中枢都市圏形成に係る連携協約の変更
- ・大崎上島町税条例の一部を改正する条例
- ・大崎上島町国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- ・大崎上島町社会体育施設設置条例の一部を改正する条例
- ・大崎上島町コミュニティバスの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
- ・明石辺地総合整備計画の策定
- ・大崎上島町過疎地域自立促進計画の一部変更
- ・平成28年度大崎上島町一般会計補正予算(第6号)
- ・平成28年度大崎上島町国民健康保険事業特別会計他6特別会計補正予算
- ・平成29年度大崎上島町一般会計予算
- ・平成29年度大崎上島町国民健康保険事業特別会計他9特別会計予算
- ・平成29年度大崎上島町水道事業会計予算

# 第1回臨時会(2月2日議会)

工事請負契約の締結 4件

# 一般質問

## 町政を問う

4人の議員が質問



どうりん きよたか  
道林 清隆 議員

### 質問（道林議員）

第二次長期総合計画では当町の基本目標の一つとして「地域を愛する人を育てるまち」実現に向けて、生涯学習、幼児・学校教育、文化活動、スポーツ・レクリエーション4項目を掲げている。

この中で、文化活動の遅れを指摘したい。

スポーツを楽しむという点では、町内には社会体育施設の箇所数は多く、都会よりも随分利用し易い環境となっているが、文化活動の分野で都会との格差を感じるのには芸術鑑賞の機会に恵まれていないことではないか。

町民が健康で心豊かに生活するためには、身体の健全と同時に心の豊かさを求

### 問

大崎上島文化センターの積極活用を

### 答

社会教育関係機関と協議し企画を進める

める事業にもバランスよく取り組む必要がある。

大崎上島文化センターは、文化活動の拠点施設である。センター管理費の多くは固定費で、利用されなくても掛かる費用である。

住民主体の体制を整え、本物の芸術に触れる機会を積極的に模索する姿勢を見せていただきたい。

### 答弁（教育課長）

限られた予算の中で芸術鑑賞を実施するほかに、団体の利用が毎年ほぼ同程度あるが、今後も引き続き利用促進を図る。

新たな企画を引き出すための住民主役の体制づくりについては、担当課に限らず社会教育の関係機関と協議をしながら進める。



芸術に聴き惚れて…





信谷 俊樹 議員

問

障害者差別解消法施行での町の対応は

答

適切な対応に努めている

問

小規模企業振興基本法に基づく町の方針は

答

平成29年度に条例を制定する

問

町を担う人材確保を

答

様々な形を検討する

問

介護サービスの隙間のフォローを

答

地域包括ケアの充実を図る

質問（信谷議員）

平成28年4月から法律が施行されているが、行政の対応は。

また、民間業者は努力義務とされているが、どのようになっているか。

相談事例はあったのか。

答弁（福祉課長）

町は4月にホームページで掲載、窓口でのタブレット設置、手話養成講座等を実施し、職員対応要領を定め、適切な対応に努めている。

民間事業者への啓発は研修会を2回実施。今後は啓発パンフレットを作成し、町内



障害者差別解消に向け設置されたタブレット

事業所等への啓発を予定している。

相談は1件あったが、指導を行い研修等に積極的に取り組んでいただくこととなっている。

質問（信谷議員）

平成26年度施行の小規模企業振興基本法は地域経済活性化と雇用を支援する重要な法律だが、町の対応は。

答弁（地域経営課長）

法律では、地方公共団体は小規模企業振興に関する施策の策定、実施の責務が明記されている。

町内510工商业者のうち495が小規模企業であり、全体の97%を占めている。

町は商工会と条例の内容などを協議しており、平成29年度中に制定したいと考えている。

質問（信谷議員）

町を担う人材育成が重要な課題となっているが、どのような施策を行っているのか。

答弁（地域経営課長）

国勢調査において20代、30代の若者が平成27年度までの5年間で6・7%減少し、1,007人となっている。

将来に向けた人材づくりについて、若者定住やリリーディング育成を目的として各種イベントや団体に支援を図ってきた。

今後有効な事業を支援していく。

質問（信谷議員）

現在、混合介護はどのようになっているか。

一体型サービスは認められていないと思うが、その隙間をどのようにフォローするのか。

答弁（福祉課長）

現在認められている混合介護とは、保険外サービスを併せて提供することである。

これらは行政窓口や地域包括支援センター、居宅介護支援員等が説明を行っており、今後も適切に説明していきたい。



前田 太 議員  
まえだ ぶとし

問 充実した雇用のあるまちづくりを

答 行政ができるサポートをする

質問（前田議員）

町長は「働く場をはぐくむ島」プロジェクトのなかで、社会福祉人材の育成・支援を掲げている。

人材不足に苦しむ社会福祉施設にとって希望になり得るが、支援された方々が長く町にとどまり活躍して頂けるのか不安がある。

仕事内容のわりに報酬という見返りが少なく、条件の良い他の市町への流出が懸念される。

これは町の人口構成健全化の妨げになる。

その他の業種と併せて、どのように充実した雇用のある町づくりをすすめるのか。

答弁（福祉課長）

当町では少子高齢化の進行で町民の福祉、介護の需要が増大するとともに認知症等により複雑で専門的な福祉介護人材の確保が重要になる。

支援事業を通じて若者の地元への就職、定住を図りたい。

答弁（町長）

待遇は大きな要素だが、自治体間の競争があり、当町では厳しい面もある。

しかし生活全体で見れば他にはない良い部分がある。生活のしやすさ、働きやすい職場が重要だ。

その意味で事業所にも頑張っていたらとともに行政ができるサポートをしていきたい。



スタディツアーの様子

問 GL校を生かした町づくりのビジョンは？

答 人的交流を図り町を活性化させる

質問（前田議員）

GL校誘致成功は得難い機会であり、「教育の島」プロジェクトの中心であり、完全離島である町のハンディを逆手に取って特徴ある発展に必ず活かすべきだ。重要だと考えるのは、開校してある程度の年数が経過した時の町の姿、経済、暮らしをどのように思い描き導くのか。

具体的には経済面、人的交流面での波及効果をお尋ねする。

答弁（町長）

GL校設立は町にとって画期的なことだと思う。大崎海星高校の魅力化への取り組みも入試の定員を上回る応募など効果が出てきたと理解する。

現在、いくつかの大学が町をフィールドに研究活動している。

これらにより各種教育機関、若い人の来町を期待するし、そのように仕掛けをして町の活性化を図りたい。経済面をどう高めるかは、今取り組んでいることの中で議員とも協議しながら仕掛けを作りたい。



GL校建設予定地





かん だ たいすけ  
閑田 大祐 議員

## 問 今後の町の財政状況は

答 現在良好であり、維持していきたい

### 質問（閑田議員）

現在、財政健全化判断比率などの財政指数は良好に推移している。平成29年度の積極的な予算編成もこれを勘案してのことと思われるが、町が考える実質公債費率の上限は。また、新年度の大型事業などが将来的にどの程度影響を与えるのか。

### 答弁（総務企画課長）

実質公債費率は18%を超える起債許可団体の起債は、新たな起債に県知事の許可が必要となる。

また、25%を超える財政健全化団体に、35%を超えると財政再

建団体となり、起債制限が課せられる。

本町は平成26年度が12・4%平成27年度が11・7%であり、良好な範囲内で推移している。

今後も維持していくことが望ましい。

大型事業の影響については、排水機更新事業、学習交流センター整備事業などの実施計画により平成28年度は13億8500万円、平成29年度当初予算では15億9400万円の起債を計上している。

また、過年度に借り入れた起債の償還が順次終了すること、これらを基に試算した結果、平成31年度で9・5%、平成32年度で9・8%、平成33年度が9・0%となり、その後もほぼ同水

準の10%前後で推移すると思われる。

今後も事業の厳選はもとより、有利な起債の活用を図るとともに、定期的な財政推計の見直し等を行いながら健全な財政運営に務める。

### 再質問（閑田議員）

非常に優良な推計値だと思いが、ならばもっと積極的な事業計画も可能ではないのか。

### 答弁（町長）

GL校関連や他にも要望もある。地方創生を因っていくうえで必要な事業は多くある。しっかりと取り組んでいきたい。



## お知らせ

- 本庁・各支所ロビーのテレビまたはインターネットで議会生中継がご覧いただけます。
- ※インターネットをご利用の場合はホームページの注目記事「○○議会ただいま生放送中」をクリックしていただければご覧いただけます。
- ※録画の視聴は町議会メニューの議会録画中継配信でご覧いただけます。

議会傍聴をしてみませんか。

次回の定例会は**6月**です

日程は町内放送・ホームページでお知らせします。

# 総務福祉文教常任委員会報告

委員長：越田賢一 副委員長：関田大祐  
委員：信谷俊樹 尾尻康二  
道林清隆

平成28年度12月定例会以降に開催した、委員会での主要な調査、協議事項及び継続審議した内容と、事業内容の審議を報告します。

## ○大崎上島町コミュニティバス（おと姫バス）の運賃引き下げ

本町の住民サービスの向上、また買い物困窮者・免許返納者に対しての公共交通手段の利用促進を目的として、現行の大人一人20

0円を100円に、子供一人100円を50円に引き下げます。

引き続き当委員会でも、以前から課題であったおと姫バスの利用促進について、料金体制・ルートの問題・便数など、これからも協議していく必要があります。



おと姫バス

## ○軽自動車税関係の改正

これまでの軽自動車税に環境性能制を設けます。これに伴い、現行の軽自動車税から軽自動車税種別割が導入されます。

平成28年度に導入された、初年度検査年月が13年を経過した車両に対し、重課税

額が適用され、一定の優れた燃費性能を持つ車両の基準に依りて、税額を軽減するというグリーン化特例が、平成29年度にも一年限りで適用されます。

## ○大崎上島町社会福祉人材育成定着事業

広島県内で平成28年度において、介護・看護職員が600人不足している現状があり、大崎上島町でも例外ではなく人材確保が喫緊の課題です。

将来の大崎上島町の社会福祉事業を担う若者の、地元への就職・定住を目的としています。

## ○大崎上島町学習交流センター整備事業

大崎海星高校及び広島商船高等専門学校に在籍する生徒等や、町外の大学等教育機関に在籍する学生等が、研修や交流活動等を行うことができる施設を整備します。

COA（アトランティック大学）のサマースクール

が実施される等、今後多数の生徒・学生の来町が見込まれることから、こうした生徒・学生が研修したり、交流する施設の必要性が高まっています。

また一定期間、生徒・学生が滞在できるよう宿泊施設を併設した施設となります。

当委員会でも施設の運用等、今後も協議していく必要があります。

## ○補正予算・当初予算

平成28年度2月補正予算、平成29年度当初予算の説明を受け、委員会で審議しました。



平成28年12月定例会以降の委員会報告をします。通常は3月に行われる定例会ですが、今回は議会改選のため2月定例会となりました。

定例会では町の当初予算が議案となるために各課から来年度の予算、事業、2月定例会の議案となる補正予算の説明をうけて審議をいたしました。

いくつかの事業をお知らせします。

# 産業建設常任委員会報告

委員長：前田 太 副委員長：浜田幸造  
委員：辰田真司 渡辺年範  
蒔田篤雄 浜田明利



## 簡易水道から上水道へ

何度か報告しましたが、平成29年度から現在の簡易水道から上水道へ移行されます。会計も公企業会計に移行します。

これは営利を追求せず公共目的のもとで独立採算的に事業活動を行う各種の公企業にも導入されているものです。

公企業会計は、複式簿記によって事業活動を継続的・組織的に記録・計算し、その結果を損益計算書や貸借対照表に総括して、経営成績や財政状態を報告するものとなります。ご利用に当たっては従来通りです。(上水道課)

## ○新築改築事業

これまでの助成(30万円以上の工事費で、工事費の10%、上限30万円)に新たに空き家を対象とした助成を加え、地域経済の活性化、住環境向上が目的です。町内業者を利用すること、空き家改修後3年以上居住することが条件で、空き家に

対しては100万円以上の工事で工事費の2分の1、上限100万円、家財処分等には10万円が助成金の上限です。(建設課)

## ○有害鳥獣対策事業

有害鳥獣の捕獲体制を強化し、捕獲頭数増加のため、国費事業を導入し、捕獲報奨金が増額されます。イノシシ成獣、シカが12000円に、イノシシ幼獣、タヌキが5000円となります。現在は捕獲鳥獣処理場の確保が困難であるため、処理場の建設が行われます。(地域経営課)

## ○野賀海岸等公園整備

バス待合所兼トイレの老朽化に伴い、それらの設備を備えた休憩所が設計、建設されます。観光スポットのひとつとしても期待されます。(地域経営課)

## 自治功労者等表彰

### 広島県町村議会議長会表彰

○議会議員20年以上

表彰基準日

平成29年1月1日

信谷 俊樹 議員



渡辺 年範 議員



広島県議会議長会による

第34回議会広報写真コン

クール入選

広報調査特別委員会委員

委員長 閑田大祐

副委員長 道林清隆

委員 辰田真司

越田賢一

前田 太

浜田幸造



## 議員研修等報告

平成29年2月17日広島県町議会表彰式がおこなわれ、研修会も開催された。

NHK解説副委員長 島田敏男氏による「揺れる世界と日本政治の明日」と題した講演があった。

また、広報コンサルタント 芳野政明氏の「広報紙クリニック」と題した研修があり、広島県内の他町の広報紙について解説(評価・指摘)があった。

二年連続で表彰されたことを今後の議会広報紙作成に生かしたい。

# 大崎上島町議会議員

3月26日の大崎上島町議会議員選挙において、新たな議員12名が決まりました。  
平成29年4月1日から平成33年3月31日までの4年間、大崎上島の町政の発展のために活動していきます。どうぞよろしくお願いいたします。(50音順)



ふりがな こしだ けんいち  
名前 越田 賢一  
住所 原田525-3



ふりがな かんた だいすけ  
名前 閑田 大祐  
住所 中野1470-2



ふりがな おじり やすじ  
名前 尾尻 康二  
住所 中野3548



ふりがな うえあおき いたる  
名前 上青木 至  
住所 中野4920-11



ふりがな はまだ こうぞう  
名前 浜田 幸造  
住所 木江5076



ふりがな はまだ あきとし  
名前 浜田 明利  
住所 東野1211



ふりがな のぶたに としき  
名前 信谷 俊樹  
住所 明石2492



ふりがな どうりん きよたか  
名前 道林 清隆  
住所 中野5830-7



ふりがな わたなべ としのり  
名前 渡辺 年範  
住所 東野163-1



ふりがな もりわか いわお  
名前 森若 巖  
住所 東野2515



ふりがな みずはし なおゆき  
名前 水橋 直行  
住所 中野4593-28



ふりがな まえだ ふとし  
名前 前田 太  
住所 木江巳5158-1

# 副議長



越田 賢一副議長

# 議長



信谷 俊樹議長

## 委員会委員決定

### 産業建設常任委員会 (6名)

地域経営課、建設課、上下水道課の所管に関する事務



- 委員長 尾尻 康二
- 副委員長 森若 巖
- 委員 浜田 明利 浜田 幸造
- 上青木 至 信谷 俊樹

### 総務福祉文教常任委員会 (6名)

総務企画課、住民課、福祉課、保健衛生課、教育委員会の所管に関する事務



- 委員長 閑田 大祐
- 副委員長 渡辺 年範
- 委員 越田 賢一 水橋 直行
- 前田 太 道林 清隆

### 広報調査特別委員会



- 委員長 閑田 大祐
- 副委員長 水橋 直行
- 委員 尾尻 康二 越田 賢一
- 森若 巖 上青木 至

### 議会運営委員会



- 委員長 渡辺 年範
- 副委員長 森若 巖
- 委員 閑田 大祐 尾尻 康二



# 追跡 あれからどうなった

(平成27年12月定例会一般質問から)

質問

野賀海水浴場周辺の整備を

回答

全面改修も検討

その後の経過

平成29年度において、バス待合所と公衆用トイレを新築し、その周辺を含めた人々が立ち寄りやすいよう環境の整備をする。



## 編集後記



この議会だよりがお手元に届くときには改選された新しい議会になっています。この4年間の自身を「五省」で省みたいと思います。

「五省」とは、江田島にあった旧帝国海軍の士官学校である海軍兵学校（現海上自衛隊幹部候補生学校）生徒が日々の行動を各自が省みるための五つの訓戒です。当時の超エリート集団であった海軍兵学校では、毎晩、就寝前に生徒は瞑想し、心の中でその問いに答えながらその日一日の自分の行動について内省をしました。軍国主義の色合いが濃くなった昭和7年に校内に掲げられ、これをさせることに、自由と柔軟性を重んじた海軍の気風にそぐわないとの批判もありました。一、至誠にもとるなかりしか（誠実にそむいていなかったか）

一、言行に恥ずるなかりしか（言動に恥ずかしい点はなかったか）

一、気力に欠くるなかりしか（精神力に欠いた点はなかったか）

一、努力にうらみなかりしか（努力するのに心残りはなかったか）

一、不精にわたるなかりしか（怠けてものぐさになつていなかったか）

このように挙げてみますと、どれひとつとってみても恥じ入るばかりです。自身では、そのようにしよう、そのようにありたいと思っただけでしたが。今後は、還暦も近くなりながらも未熟な自分を律していきたいと思います。

(M・F)

## 大崎上島町議会

TEL(0846) 65-3130(直通)

FAX(0846) 65-3117

〒725-0231 広島県豊田郡大崎上島町東野6625-1

URL:<http://www.town.osakikamijima.hiroshima.jp/>

議会広報委員

委員長

閑田大祐

副委員長

道林清隆

委員

辰田真司

委員

越田賢一

委員

前田太

委員

浜田幸造